



～チーム二中で協力しつくりあげた体育祭～

新型コロナウイルス感染拡大防止対策をおこないながら、10月15日(土)に、晴天のもとで第67回体育祭を開催することができました。箕面市立第二中学校ブログ(本校のホームページトップから見ることができます。学校の様子を日々アップロードしています。)にも掲載されていますので、ぜひご覧ください。

保護者のみなさまにおかれましては、競技をする学年にあわせて、保護者どうしの観覧席のゆずりあいにご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

二中の子どもたちは、クラスメイトどうし協力しながら、優勝をめざして取り組み、楽しみながら全力をもって競技にとりくんでくれました。そして、そのとりくむ姿は学年の壁を越えて子どもたちに、私たち教職員に、そして、保護者や地域のみなさまに感動・元気を与えてくれました。とてもよかった体育祭だったと思います。

保護者どうしのゆずりあいやクラスメイトどうしの協力は、相手のことを大切に思っでの行動です。自分と相手、ともに対等でありながらお互いに寄り添い、相手の思いを大切に、さらに自分の思いも大切にされる。これは、人権の理念が具現化されており、そのような一日が第67回体育祭であったと思います。

このように人権の理念を具現化した世界が一日一日積み重ねられるように、二中の子どもたちと一緒に教職員一同、授業をはじめとするさまざまな活動や学校生活をとおして努めていきたいとあらためて思います。一日一日積み重ねていくことで、この世界のみんなが感動や元気をもらえると思うので。

人権教育推進担当 鈴木 孝浩

～各学年のとりくみの様子～

【3年生】

3年生のようすを紹介します。今は進路に向けてそれぞれが頑張っています。11/14(月)～11/18(金)にかけて進路懇談を行い、保護者の方々と生徒のみなさんの進路について話し合いました。進路学習では、「悩めるねん…どう思う?」と題して、自分の友人が進路について様々な悩みを打ち明けたときに、どのようなアドバイスをするかを考えました。例えば「頑張っているのにテストでは結果が出ない。やる気がなくなってきた」という悩みに対して、「テストでがんばれたことはすごいこと。自分のためになってると思うよ。点数にはすぐには反映されないから、もう少し一緒にがんばってみようよ。」といったアドバイスをかける人もいます。この活動を通して、友人の悩みに答える形で、自分の不安を和らげることができたと感じる人もいたようです。進路学習の他にも、人権学習では社会の差別のおかしさに気づき、どのように差別がなくせるか考え、どう行動に移せるか考えています。11月28日(月)にはらいとびあ21から講師を招き、お話を聞きながら自分が社会の差別にどう立ち向かうか考えていきました。今後も、地域と連携しながら、各クラスの個性を育むことを大切に、3年生の進路学習や人権学習をすすめていきます。

【2年生】

10月15日、秋晴れの中、待ちに待った体育祭が実施されました!

各個人種目はもちろんのこと、学年種目の全員リレーはみんな真剣でした。二年目となると、少し慣れた様子が見られました。部活動リレーやクラス対抗リレーも少し余裕を見せながら、走ってくれました。みんなの顔が輝いていました!

また、10月はキャリア教育の月でもありました。

職業講話を聴いたり、受験シミュレーションを実施したり、電話のかけ方を学んだり…と、盛りだくさんの月でした。

その中でも、受験シミュレーションは、副担任の先生による架空の高校のプレゼンを聞き、志望校を決定!仮の成績を元に、出願する。

という流れで、大盛り上がりでした。終礼で返される「合否通知」に一喜一憂をして、仮の受験を体験しました。なかなかない機会であることも理解し、受験の厳しさを少し体験できたのではないのでしょうか?今後も引き続き、進路を意識した学習活動に繋げていきたいと思えます。

【1年生】

初めての体育祭!!!

体育祭では、それまでの体育の授業や学年練習、予行、昼休みで練習した成果を存分に発揮することができました。競技や係の仕事、応援や頑張っている人に拍手を送るなど何事にも一生懸命に取り組む姿がみられました。特に、学年種目の綱引きでは、クラスが一丸となって頑張り、団結力を見せてくれました。

生徒の振り返り(一部抜粋)

- ・みんなと協力して行った体育祭なので、入学した時よりも団結力が大きくなっているし、仲良くなったと思います。なので、来年の体育祭でもそれが役立つと思います。
- ・体育祭の経験を活かして一年生、一人一人が69期生として団結しあえるいい学年になると思います。
- ・体育委員さんが誰よりも一生懸命で、人一倍声を出して、みんなを引っ張ってくれました。

体育祭のふりかえりでは団結という言葉が多くみられました。また、体育委員や生徒会、先生などの意見もあり、体育祭を支えてくれた人への感謝を感じられているようでした。体育祭で培われたクラス・学年の“つながり”を学校生活でも活かしてもらえたらと思います。

お宝人権祭り

10月29日(土)、1年生は、かやお宝人権まつりに出展およびボランティアスタッフとして参加しました。

最初にらいとびあ21の職員さんよりお話を頂きました。「どんな人ともつながって気持ちを通じ合わせて、生きていて楽しいねって思えるよう、人と人とのつながりを大切にしてもらえたら。」その言葉を胸に、勇気を出してたくさんの人に話しかける1年生の姿がありました。

展示ブースでは総合の時間等を使って準備した地域の紹介パネルや文化祭でも展示した「カルチャーばっくす」を展示しました。当日はたくさんの来場者に観ていただき、好評の声をいただきました。また、ボランティアスタッフとして、道具の運搬や会場の準備、各ブースの案内など大活躍してくれました。班のメンバーと協力し、取り組む姿は、頼もしく感じました。今回できた出会いやクラス・学年、地域との“つながり”を大切にしながら、これからも地域に愛されながら成長できる69期生であってほしいと思います。

【二中生の活躍】

～イングリッシュ エクスプレッション コンテストに出場しました～

11月5日(土)、箕面市主催のイングリッシュ エクスプレッション コンテストに1年生の山下莉央さん、2年生の杉井玲奈さんが出場しました。

山下さんは「my school」として、水泳部のことや体育祭のことについて写真を提示しながらスピーチしました。スピーチの最後は「チームワークが大切」という大事なことを伝えてくれました。

杉井さんは「my memory」として、夏休みに家族で訪れた京都についてスピーチしました。京都のいいところや学んだことについてスピーチし、最後は自分の将来のことにもふれつつ、自分の思いを伝えてくれました。

様々な場でたくさんの二中生が活躍しています。引き続き今後も行事や生徒会活動、部活動での頑張りをお伝えしたいと思いますので、楽しみにしててください。